



イーソル株式会社

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

2022年11月14日

目次

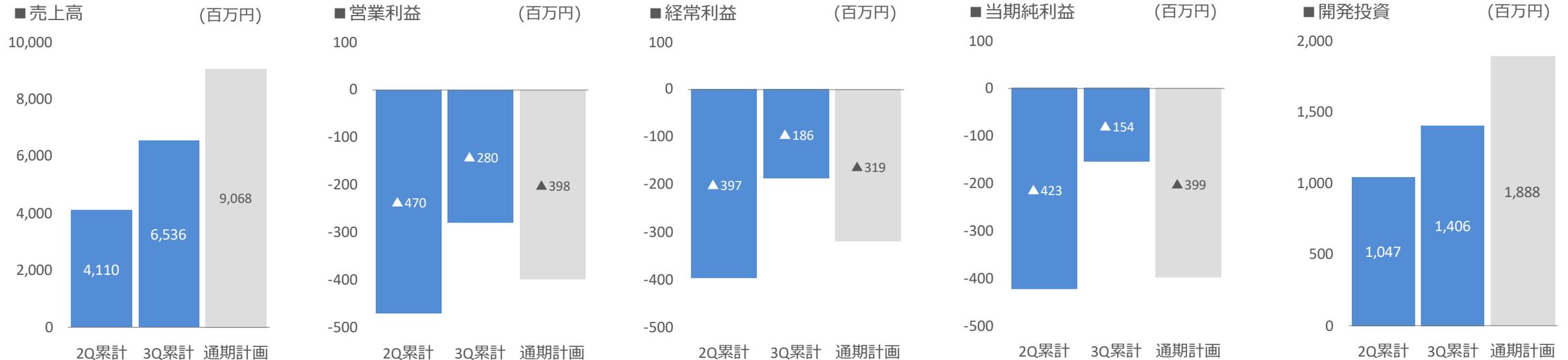
1. 2022年12月期 第3四半期決算概要
2. トピックス

1. 2022年12月期 第3四半期決算概要

第3四半期決算の概要（計画値の進捗）

2022年8月10日発表の計画値の進捗は以下のとおりとなった。

当第3四半期（7月～9月）において、利益率の高い、組込みソフトウェア事業の製品の売上が計画どおり伸長した。



第3四半期決算の概要（前期比）

- 売上高：センシングソリューション事業の売上高が減少し全体で微減収となった。
- 営業利益：車載ソフトウェアプラットフォーム向け自社製OSの開発投資の増加により減益となった。
- その他：前期に引き続き、NEDO*の研究開発プロジェクトの収入を営業外収益に計上した。

セグメント別の詳細：P6 得意先セクター別の詳細：P9

(百万円)

*NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

	2021年 第3四半期	2022年 第3四半期	前期比
売上高	6,652	6,536	▲1.7%
売上原価	4,516	4,302	▲4.7%
リビジョンアップ	502	414	▲17.5%
売上総利益	2,136	2,233	+4.5%
販売費及び一般管理費	2,004	2,514	+25.4%
研究開発費	786	992	+26.2%
営業利益	131	▲280	—
経常利益	379	▲186	—
当期純利益	271	▲154	—

開発投資（研究開発費+リビジョンアップ）の詳細：P7

前期比増減の
詳細：P8

セグメント別の業績（前期比）

（百万円）

セグメント別	2021年 第3四半期	2022年 第3四半期	前期比
売上高	6,652	6,536	▲1.7%
組込みソフトウェア事業	6,070	6,279	+3.4%
組込みソフトウェア製品	1,302	1,534	+17.8%
エンジニアリングサービス	4,768	4,744	▲0.5%
センシングソリューション事業	547	362	▲33.8%
連結調整	34	▲105	—
売上総利益	2,136	2,233	+4.5%
組込みソフトウェア事業	1,895	2,204	+16.3%
センシングソリューション事業	195	123	▲36.8%
連結調整	45	▲94	—
営業利益	131	▲280	—
組込みソフトウェア事業	64	▲149	—
センシングソリューション事業	22	▲36	—
連結調整	45	▲94	—

■組込みソフトウェア事業

自動車向け組込みソフトウェア製品の売上増

■センシングソリューション事業

車載プリンタ関連の売上が大幅減

■連結調整

主に関係会社間取引における未実現利益の調整額

開発投資の状況（前期比）

■ 開発投資の基本方針

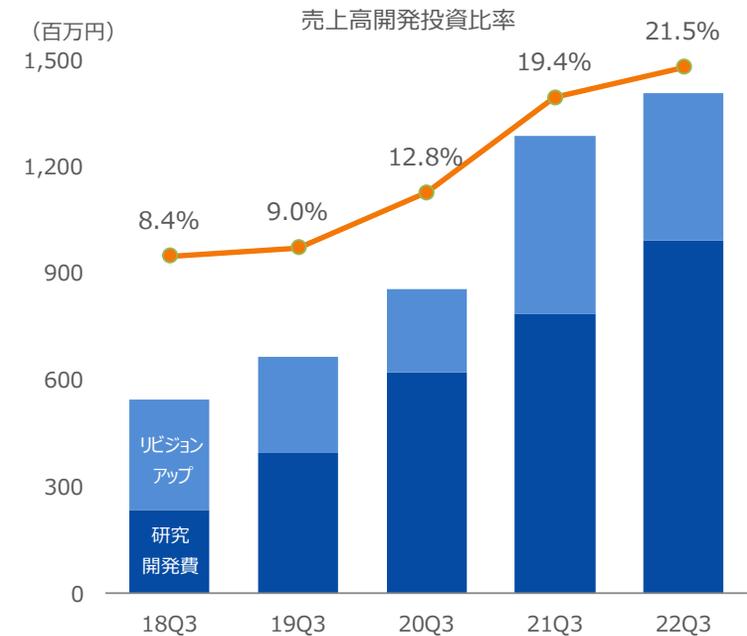
売上高の10%程度を基準に、毎期、開発投資を継続して行い、自社製品のさらなる高機能化を目指す。

■ 今期の方針

当社が主要ターゲットとして位置付けている自動車市場で進む「つながる車」に向け、売上高比率10%を超えた開発投資を継続。
 （「つながる車」の新車販売は、世界で2035年に2020年比 2.9倍に増える見込み（富士経済調べ））

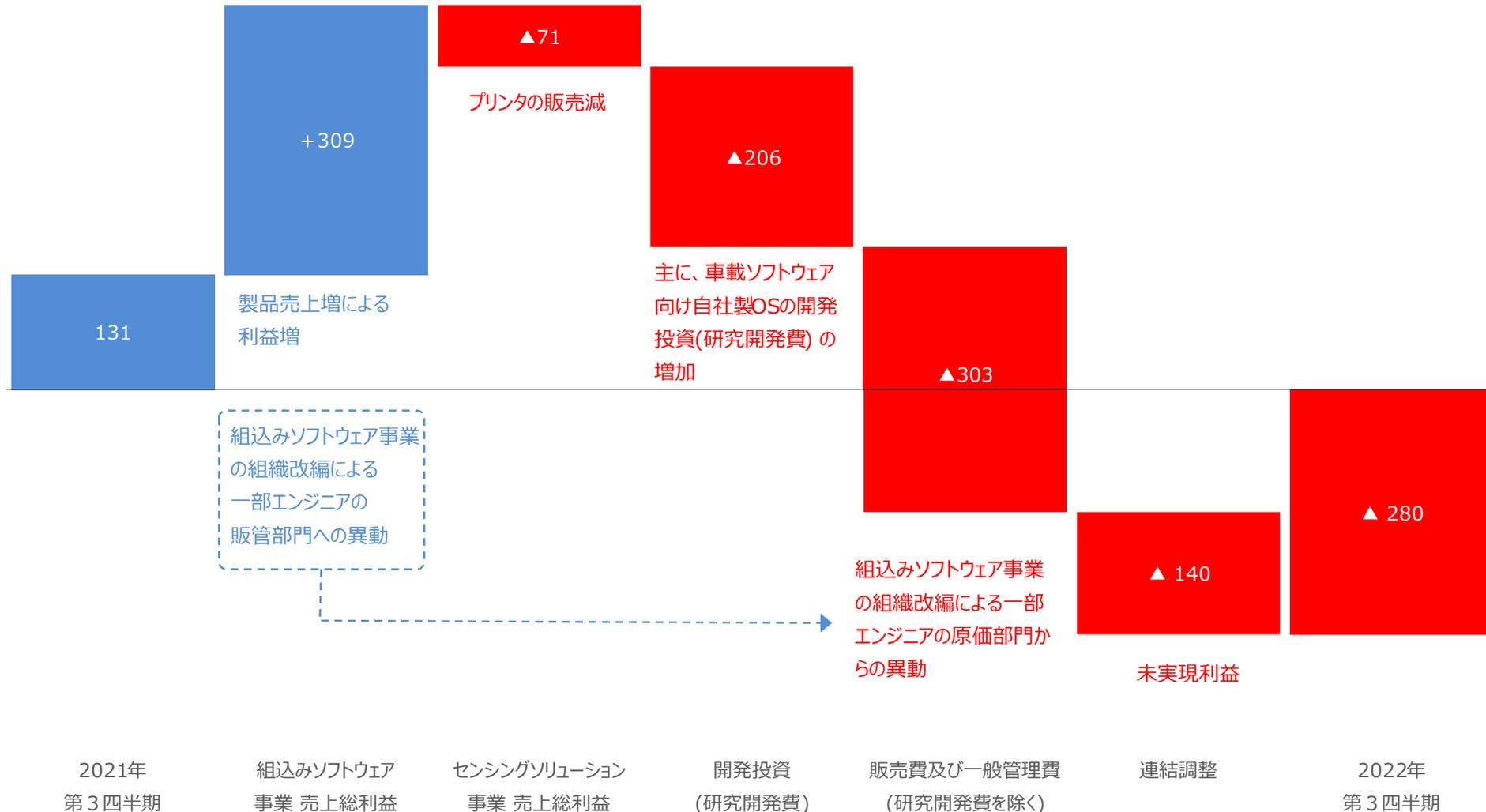
	(百万円)		
	2021年 第3四半期	2022年 第3四半期	前期比
売上高	6,652	6,536	▲1.7%
開発投資額	1,288	1,406	+9.2%
研究開発費	786	992	+26.2%
リビジョンアップ	502	414	▲17.5%
売上高開発投資比率	19.4%	21.5%	—

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



営業利益増減要因（前期比）

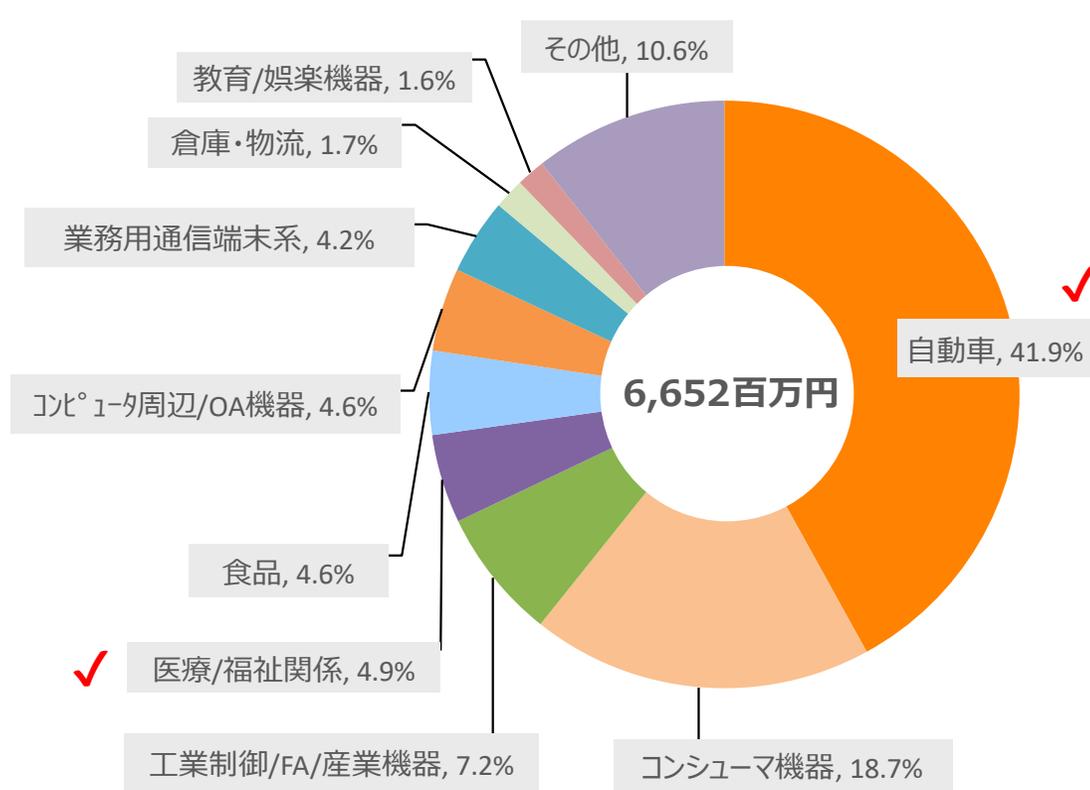
(百万円)



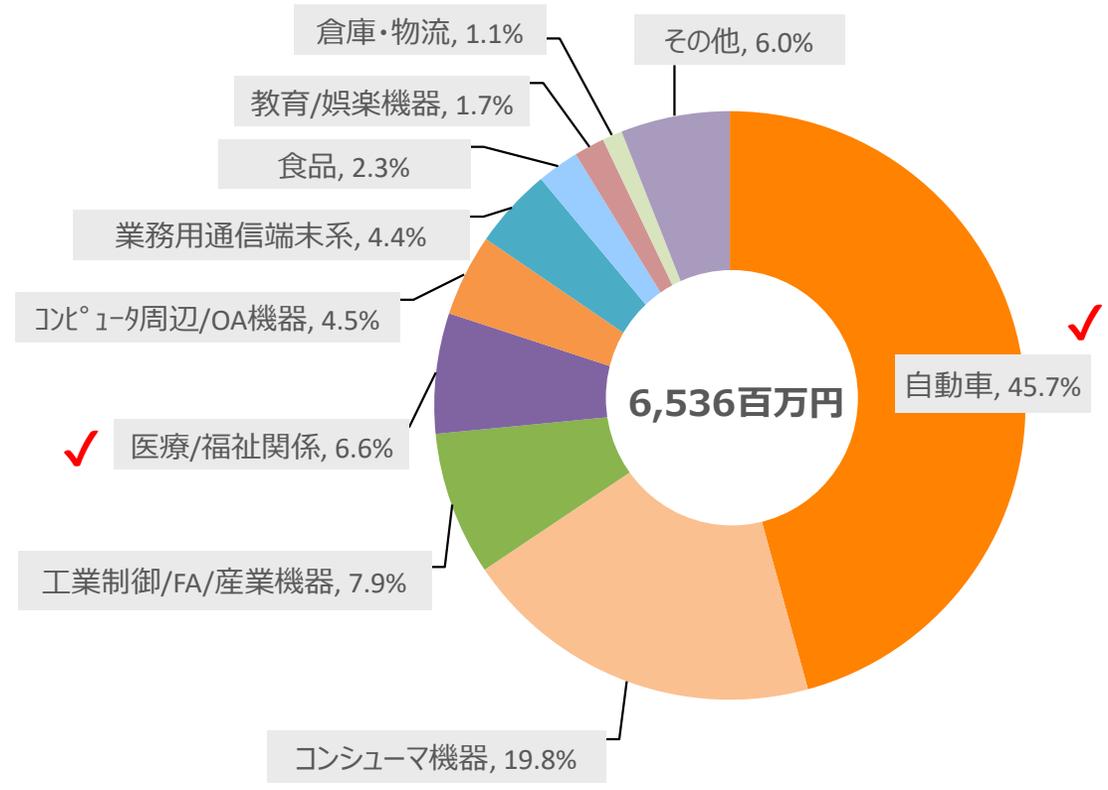
得意先セクター別の売上割合（前期比）

✓ 自動車、医療／福祉関係向けが伸長

（注）「その他」は連結調整を含む



2021年 第3四半期



2022年 第3四半期

株主還元

次の方針に基づき、株主の皆様への還元を図ってまいります。

■ 配当政策

財務基盤の安定化

業績に応じた安定した配当性向

内部留保による企業価値向上への投資（開発投資、人材育成など）

■ 配当の額

今期は、前年比減益予想ではありますが、これは将来収益獲得のための開発投資の増加によるものであるため、配当額は、前年同額を計画しております。

	2019年	2020年	2021年	2022年
1株当たり配当金	*5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
（うち中間配当金）	(0.00円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	17.0%	16.6%	55.8%	—

*うち、記念配当1.50円

2. トピックス

最近のプレスリリースから

2022年11月8日リリース

株式会社ジャノメの海外向け最高級刺しゅう機能付き コンピュータミシンに
当社のリアルタイムOSが採用されました。

家庭用ミシンの最大手であるジャノメ社が発売した最上位機種
(Continental M17) に当社製品が採用されました。

同機種は、フラッグシップモデルとして、高性能で充実した
機能が備わっております。

今後も、同社製品の他機種などにおいて、当社リアルタイムOS
が採用される予定です。

https://www.esol.co.jp/press/press_588.html



最近のプレスリリースから

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の広報誌「Focus NEDO」第86号に、RISC-V*に関する当社の取り組みの紹介記事が掲載されました。

2022年6月2日にプレスリリースした取り組み「NEDO委託事業の成果をRISC-V向けのOSおよび開発ツールソリューションとして事業展開を強化」に関する紹介記事がNEDOの広報誌「Focus NEDO」第86号に掲載されました。（該当記事は13ページです。）

https://www.esol.co.jp/press/press_570.html (2022年6月2日プレスリリース)

https://www.nedo.go.jp/library/ZZ_focus_86_index.html (NEDO広報誌 第86号)

<https://www.nedo.go.jp/content/100952634.pdf> (同誌 13ページ)

*RISC-V（リスク ファイブ）は、オープンソースのCPUアーキテクチャとして多くの企業からの採用が期待されています。

革新的AIは「環境」に動く AIエッジコンピューティング

PROJECT 4/4
セキュアオープンアーキテクチャ向けコンパイラバックエンドおよび対応ランタイム環境の設計・開発

「RISC-V」の利活用を促進し 組み込みシステムの競争力向上を目指す

RISC-Vコア向けのOSや開発ツールを共同開発し、
市場で競争力を発揮する処理効率とリアルタイム性を実現しました。

**共同研究で強化した技術連携を生かして
事業化と国内のRISC-V活用を推進**

これまで組み込み向けCPUの命令セット・アーキテクチャ (ISA: Instruction Set Architecture) で高いシェアを占めてきたライセンス仕様の「ARM」等に代わり、近年、オープンソースの「RISC-V」が急成長を見せています。しかし、RISC-V開発環境において、処理効率やリアルタイム性、安全性、電力コスト等、課題も多いのが現状です。

こうした背景を受け、NEDOは、イーソル株式会社、京都マイクロコンピュータ株式会社、株式会社エヌエスアイテクス、株式会社OTSLと共同で、RISC-VコアをベースとしたOSやアプリケーションの開発環境の整備・拡張と実用化を目的に、誰もが使いやすい組み込みシステム向けソフトウェア

スタックを含むツールチェーンの研究開発に取り組みました。プロジェクトでは、RISC-Vに最適化されたマルチコア対応の高性能ランタイム環境 (RTE/OS)、C言語コンパイラ、RISC-Vに対応する並列化支援ツール等を開発。RTEプロトタイプ版とLinuxの比較評価を行い、同等の性能であることを確認しました。京都マイクロコンピュータの辻 邦彦氏は「実際の開発現場に近い環境だったので、ユーザーにとって適合性が高く、事業化しやすいことがメリット」と話し、エヌエスアイテクスの西村 成司氏は「歓迎していた可変長ベクトル命令の技術の再構築に挑戦できたことは大きなやりがいとなりました」と振り返ります。イーソルの権藤 正樹氏は「世界と戦うためには、日本のツールベンダーが手を組んでRISC-Vのソフトウェアツールチェーン・エコシステムを構築していくことが不可欠。車やデジタルイメージングなど、日本が得意な高信頼性が求められ、コスト効率のいい分野において、日本のメーカーがシェアを獲得していく一助になれば」と期待を込めました。

産業界・開発者コミュニティ

開発者コミュニティの拡大、RISC-V向けOSの開発、RISC-V向けコンパイラの開発、RISC-V向け開発環境の整備・拡張と実用化

Esol KMC NISHITEXE OTSL
イーソル株式会社 京都マイクロコンピュータ株式会社 エヌエスアイテクス 株式会社OTSL

4社がRISC-V向け開発環境を
共同で整備・提供

権藤 正樹 氏
イーソル株式会社
開発部長 CTO
ソフトウェア事業部長
(写真左)

西村 成司 氏
株式会社エヌエスアイテクス
開発部 開発PM課
担当課長
(写真中央)

辻 邦彦 氏
京都マイクロコンピュータ
株式会社
セールスマネージャ
(写真右)

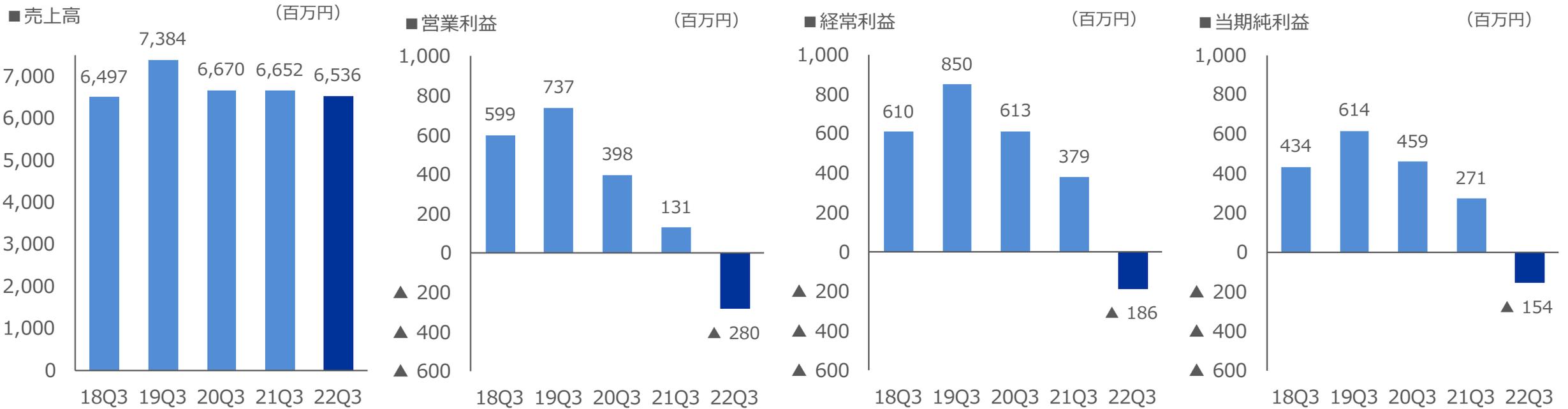
Focus NEDO | 2022 No.86 | 13

イーソルのビジョン

- イーソルは取引先様、ビジネスパートナーの皆様、株主の皆様と共に歩み、応援してもらえる企業を目指します。
- 組み込みソフトウェアの分野で、独自のソフトウェア製品の開発から多様なニーズに対応するエンジニアリングサービスまでをワンストップで提供できる世界的にも希少な企業として、今後も事業を拡大してまいります。
- 上場企業として、事業を通して、取引先、従業員、株主、全てのステークホルダーの価値向上を目指します。
- 株主の皆様には、1株あたりの利益の最大化を図り、企業価値向上を目指します。

ご参考資料

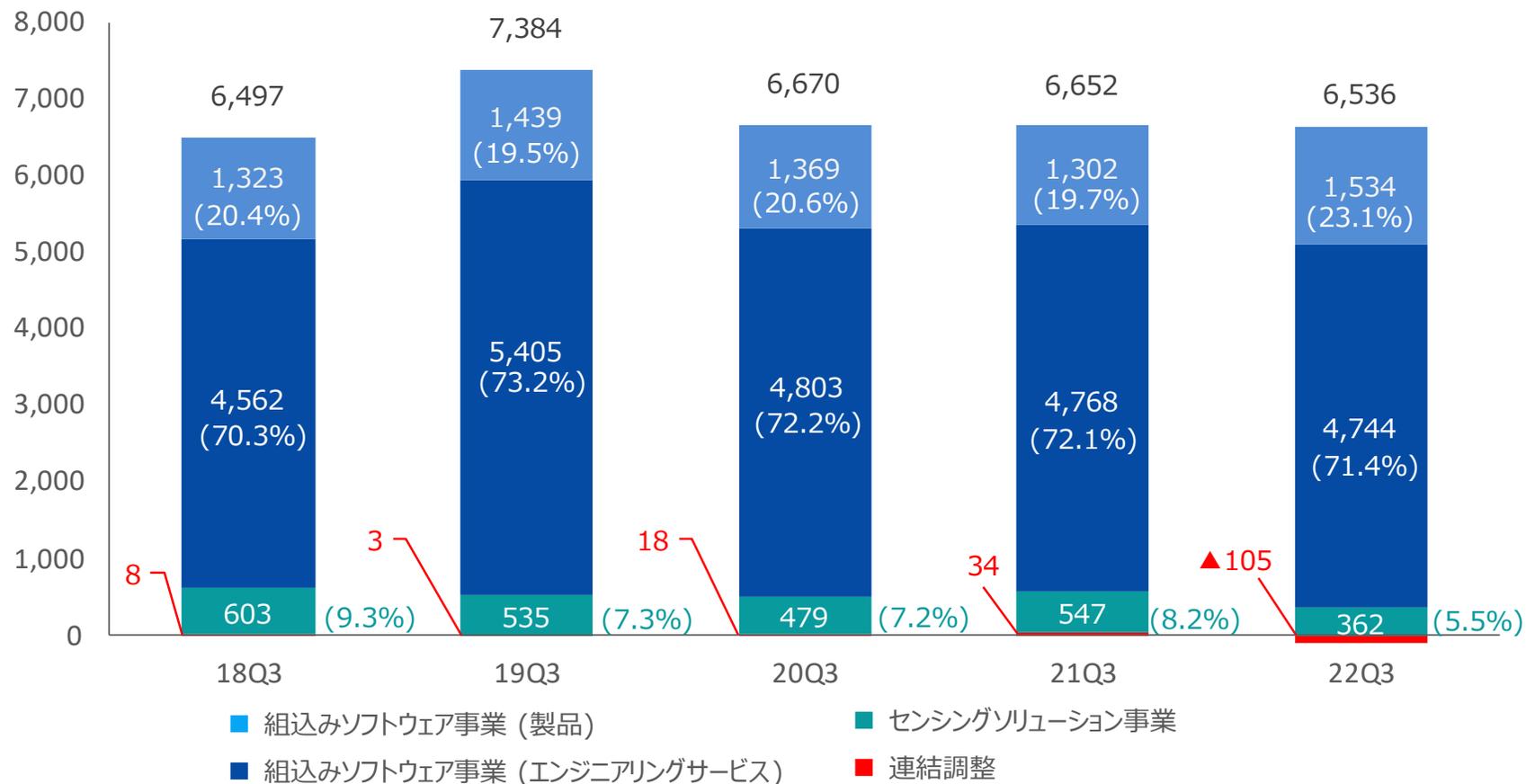
過去 5 年間同期比較



過去5年間同期比較 (セグメント別の売上高)

(百万円)

各割合は、連結調整前の組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の合計に占める割合



過去5年間の開発投資

(百万円)

	2018年第3四半期	2019年第3四半期	2020年第3四半期	2021年第3四半期	2022年第3四半期
研究開発費	233	396	621	786	992
リビジョンアップ	311	269	235	502	414
開発投資合計	544	665	856	1,288	1,406
売上高	6,497	7,384	6,670	6,652	6,536
売上原価	4,575	5,007	4,423	4,516	4,302
リビジョンアップ	311	269	235	502	414
売上原価 (除くりビジョンアップ)	4,264	4,738	4,187	4,013	3,888
売上総利益	1,922	2,376	2,247	2,136	2,233
売上総利益率	29.6%	32.2%	33.7%	32.1%	34.2%
売上総利益 (除くりビジョンアップ)	2,233	2,645	2,482	2,638	2,647
売上総利益 (除くりビジョンアップ) 率	34.4%	35.8%	37.2%	39.7%	40.5%
販売費及び一般管理費	1,322	1,639	1,848	2,004	2,514
研究開発費	233	396	621	786	992
販売費及び一般管理費 (除く研究開発費)	1,088	1,243	1,227	1,218	1,522
営業利益	599	737	398	131	▲ 280
営業利益率	9.2%	10.0%	6.0%	2.0%	-
営業利益 (除く開発投資)	1,144	1,402	1,255	1,420	1,125
営業利益 (除く開発投資) 率	17.6%	19.0%	18.8%	21.3%	17.2%
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ)	833	1,133	1,020	917	711
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ) 率	12.8%	15.3%	15.3%	13.8%	10.9%

本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

お問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

当社WEB : <https://www.esol.co.jp/>